

# 2024年12月期（2024年度） 決算説明会

artience 株式会社

決算説明会 開催日：2025年2月21日

決算説明会資料 公開日：2025年2月20日

# 目次

- 本日本お伝えしたいこと
- 中期経営計画artience2027の進捗
  
- 決算のポイント
- 2024年度 連結業績概況・事業セグメント別実績概況
- 2025年度 事業セグメント別見通し

(参考) 連結BS・PL概況  
事業別・地域別セグメント実績  
主な製品・用途

## 成長を第一に掲げ、集中的に資源を投入

- ✓ インドなど海外のパッケージ関連分野などの成長を取り込む
- ✓ ディ스플레이・先端エレクトロニクス関連事業をLiB以外の柱として更に拡大
- ✓ LiB関連は、着実な生産と顧客との次世代開発を本格化

## 企業価値をより重視した経営を進める

- ✓ ROEを重視し、2026年に8.0%以上の達成を目指す
- ✓ 保有株式の縮減継続と株主還元策の実施

## 2024年度 連結業績

(単位：億円)

	23年度実績	24年度実績	増減率(%)	24年度通期計画 (8/9修正後)	25年度通期計画
売上高	3,221	3,511	9.0	3,550	3,700
営業利益	134	204	52.7	200	220
経常利益	129	210	63.1	200	210
親会社株主に帰属する 当期純利益	97	185	90.4	165	175
営業利益率	4.2%	5.8%	+1.6 (point)	5.6%	5.9%
海外売上高比率	53.7%	55.4%	+1.7 (point)		—
ROE	4.2%	7.3%	+3.1 (point)		7.0%

### 計画の前提となる指標と実績

		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
為替	1 USD	¥141.2	¥152.2	¥150.0
	1 EUR	¥153.2	¥164.4	¥155.0
	1 RMB	¥19.9	¥21.1	¥21.0

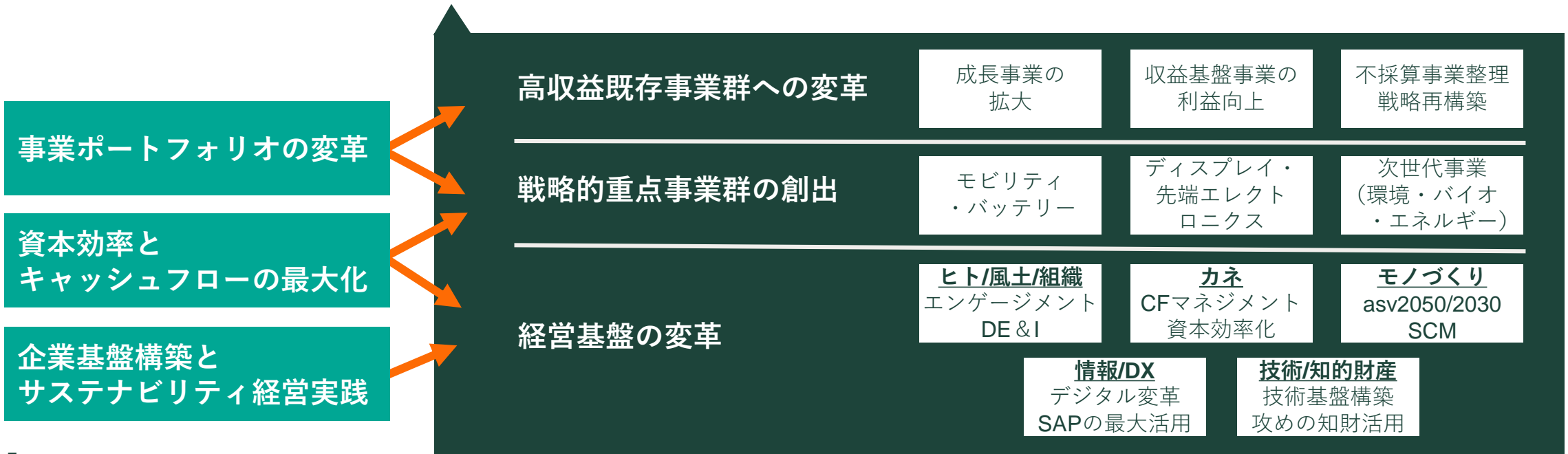
		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥67,600	¥75,400	¥70,000

# 経営計画 artience2027/2030 “GROWTH”

〔目指す姿〕  
心豊かな未来  
持続可能な社会  
企業価値最大化

	2023 12月期	2024 12月期	2025 12月期	2026 12月期	2029 12月期
売上高	3,221億円	3,511億円	3,700億円	4,000億円	5,000億円
営業利益	134億円	204億円	220億円	250億円	
営業利益率	4.2%	5.8%	5.9%	6.3%	
ROE	4.2%	7.3%	7.0%	7.0%以上⇒8.0%以上へ修正	10.0%以上

## artience2027



# 2024年度：中期経営計画の進捗

## 基本方針（1） 高収益既存事業群 への変革

- **成長事業**：前中計で実施した海外拠点の設備投資の稼働が寄与し、包装関連分野（リキッドインキ、粘着剤、ラミネート接着剤、機能性インキなど）を中心に利益拡大。更なる成長に向けて追加投資を検討。
- **収益基盤事業、構造改革・戦略再構築事業**：国内オフセットインキ事業は構造改革や価格改定推進により赤字縮小。その他事業も高付加価値品への転換や価格改定推進、効率化で稼ぐ力が向上。

## 基本方針（2） 戦略的重点事業群 の創出

- **モビリティ・バッテリー関連**：LiB用CNT分散体は短期はEV市場停滞も、中長期の成長見据え投資を推進。内定社数は23年7社から24年10社へ増加。
- **ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連**：
  - ・ディスプレイ関連は中国シフトや競争環境の激化に対応し、周辺材料群を拡大。
  - ・先端エレクトロニクス関連は半導体向け材料の開発が進み、一部で実績化。

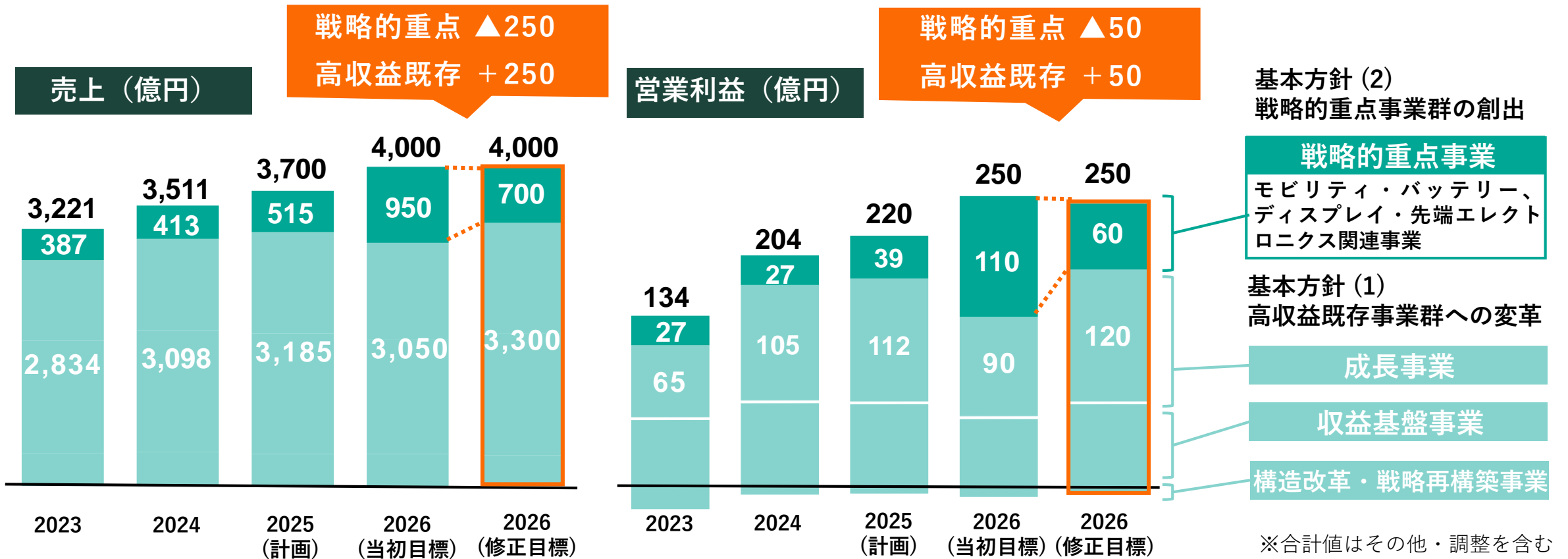
## 基本方針（3） 経営基盤の変革

- **企業価値向上に向けた資本効率化を推進**
  - ・ 保有株式 24年 95億円の売却（売却益42億円）
  - ・ 自己株式取得（450万株もしくは100億円上限）（取得期間24年8月13日～25年8月12日）
  - ・ 増配：24年12月期は年間配当100円（前期比+10円）
- **サステナビリティビジョンasv2050/2030の推進**

ROE改善、PBR向上へ

# 2024年度：中期経営計画の進捗 – 事業ポートフォリオ変革（基本方針1・2） –

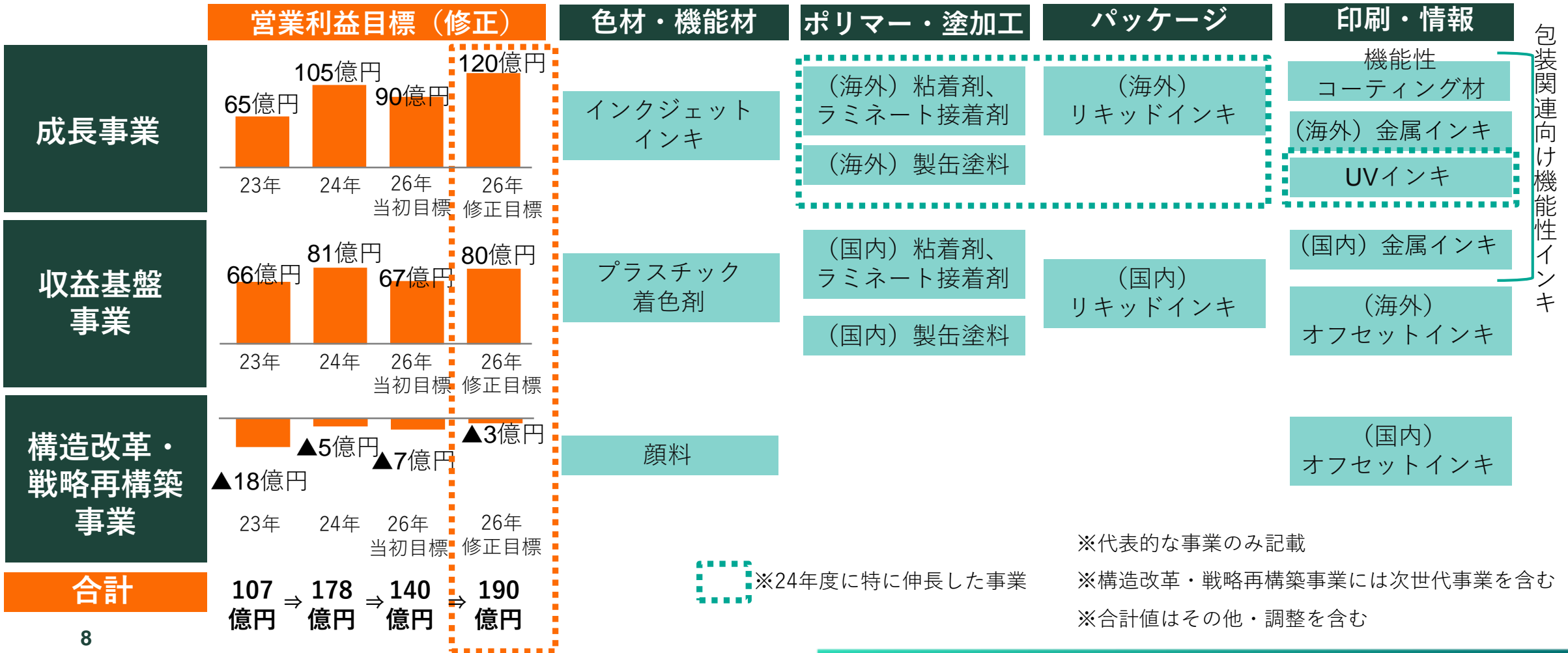
- **24年総括**：高収益既存事業は前中計で実施した海外拠点の設備投資が稼働し成長事業が想定以上に伸長し、国内オフセットインキ事業は構造改革や価格改定で利益が改善。一方で、戦略的重点事業は拡大に向けた投資が進んだものの、LiB用CNT分散体はEV市場拡大の停滞により想定より2年遅延し、当初計画を24年8月、11月に下方修正。
- **26年の売上高および営業利益の目標総額は据え置き、各事業の目標値は修正**



# 基本方針（1） 高収益既存事業群への変革

■ 26年度の高収益既存事業群の各事業の目標値を修正

■ 24年度進捗：成長事業の包装関連分野、リキッドインキ・UVインキ・粘着剤・ラミネート接着剤・製缶塗料が海外で伸長





# 印刷・情報事業の事業ポートフォリオ変革

■ オフセットインキ事業は国内で構造改革を継続し国内外で包装関連拡大、機能性インキへの集中で収益伸長

## オフセット（一般インキ）

■ 海外：紙器やラベルなど包装関連用途が多く、需要堅調

### 用途シフト

- ・ アジア、インドにおいてハイエンド市場中心に拡大



■ 国内：商業印刷市場が縮小

### 構造改革

- ・ アライアンス、人員シフト、DX推進
- ・ 分社、販社計6社統合（23年1月～）
- ・ 25年の人員数は25%削減（22年比）

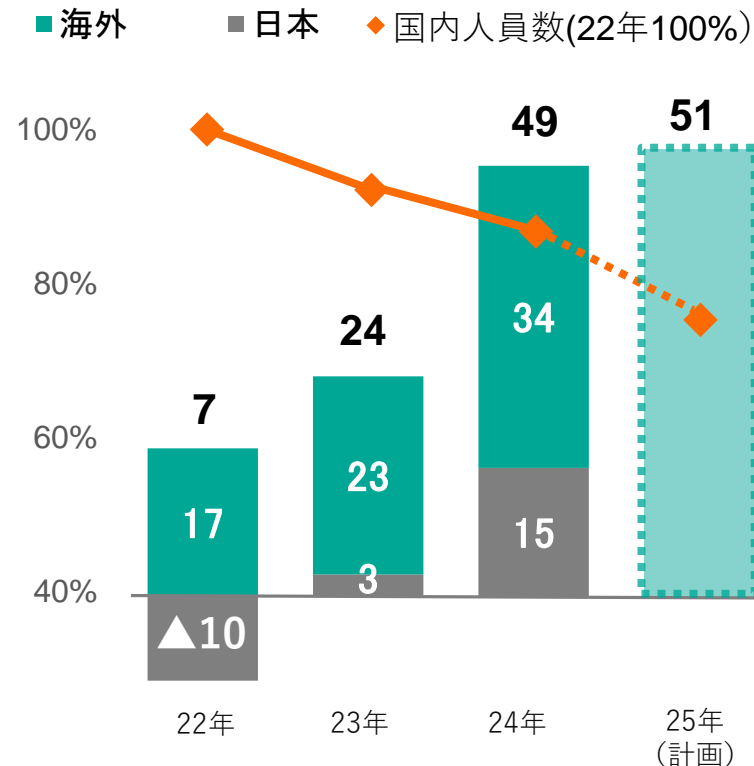
## 機能性インキ

■ 国内・海外：包装関連や高級用途で需要が拡大

### 事業拡大

- ・ UVインキ：独自原料により競争力強化  
省エネLED-UVも含め拡大
- ・ 金属インキ：国内シェアNO.1の実績活かし海外展開
- ・ 機能性コーティング材：紙器高級用途へ付加価値を提供

＜印刷・情報の営業利益推移※＞  
(億円)



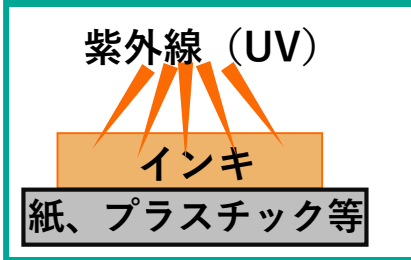
国内の収益改善

※日本・海外の実績は地域間消去を反映していません。

# 印刷・情報事業の事業ポートフォリオ変革

## －UVインキを国内外で拡大－

### UVインキのメリット



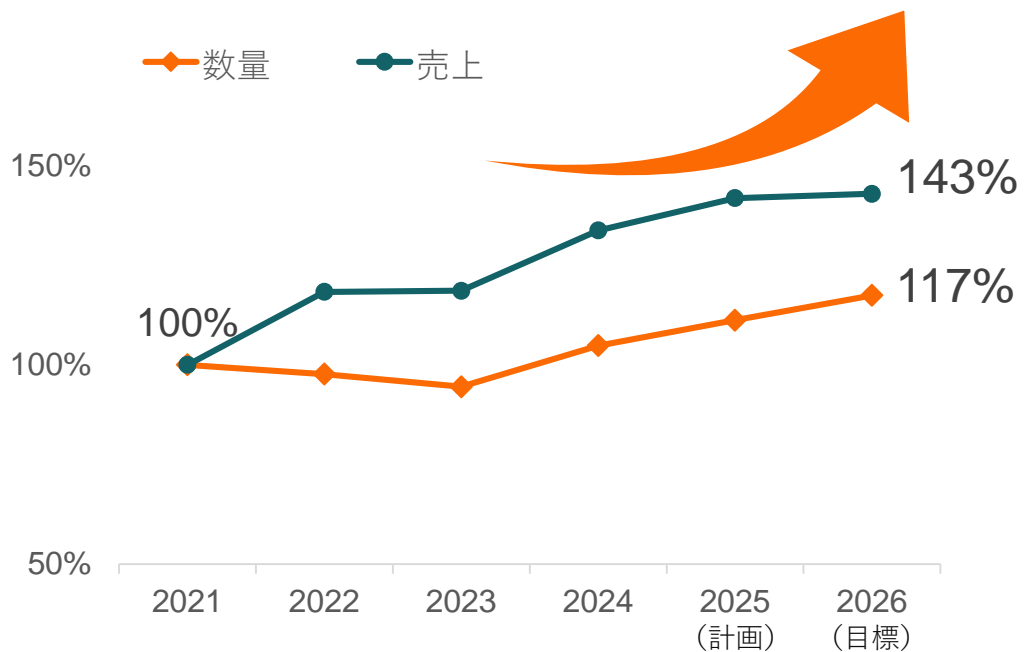
紫外線 (UV)  
インキ  
紙、プラスチック等

- ・ UVによる速乾（短納期）
- ・ エネルギーコスト低減
- ・ 環境対応（VOCフリー）
- ・ 膜の強度が高い（多用途）

### ■ 当社の強み

- ・ 独自原料による高品質実現とコスト競争力
- ・ 高感度UV（LED含む）で世界シェアトップ

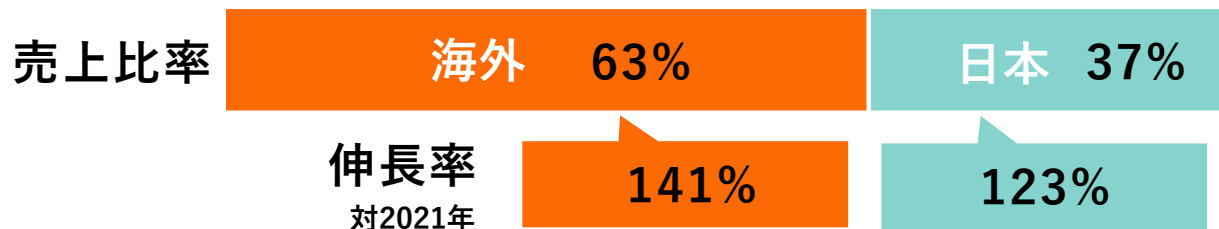
### 当社UVインキの数量・売上推移



### UVインキ拡大戦略

- ✓ 商業印刷における油性インキから高感度UV（LED含む）への切り替え獲得
- ✓ シール・ラベル等のパッケージ用途への展開強化（バイオマス、高物性）
- ✓ 欧州を中心に水銀規制など各種環境規制に対する先行開発を推進

### 2024年時点



## グローバル市場の成長取り込み（ポリマー・塗加工、パッケージ）

- 前中計で実施した海外拠点の設備投資による生産キャパ増加やタイでのM&Aが寄与し、アジア中心に伸長
- 特にインドは成長著しく、工業材向け粘着剤の追加増強を決定

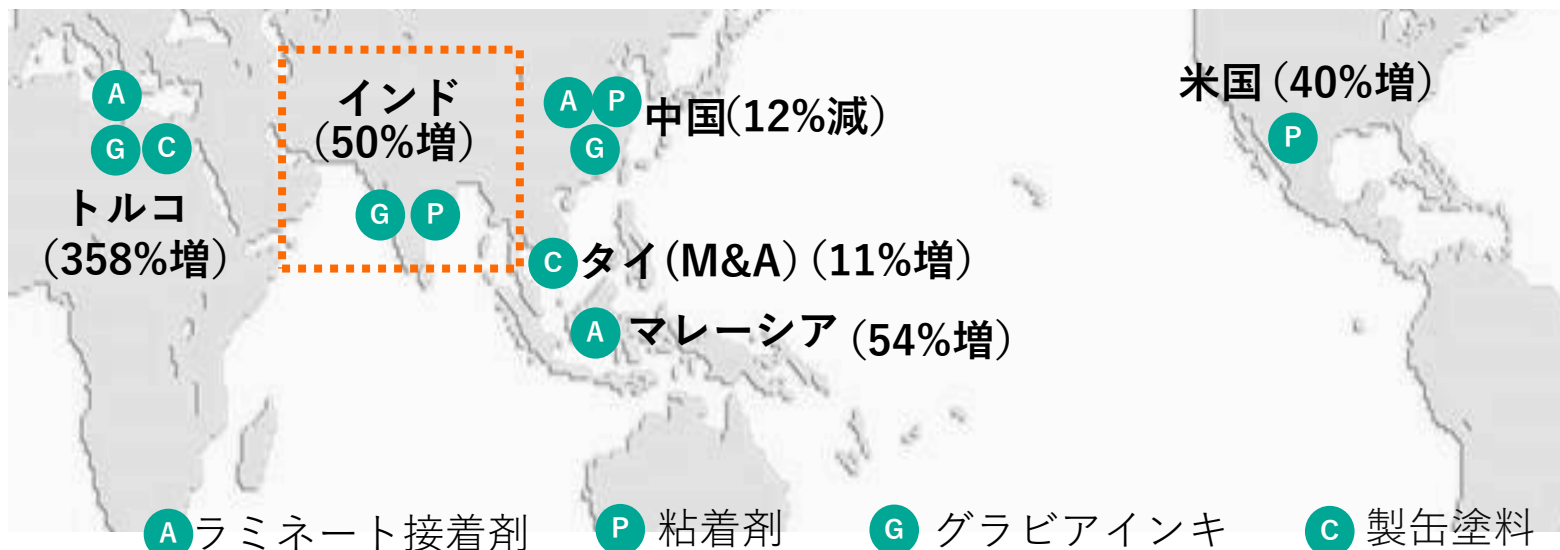
### ■ アジア市場の見通し

- 包装関連市場は人口増加に比例し需要拡大
- 経済発展に伴い高品質化や環境対応ニーズの増加、工業材の現地生産化が進展

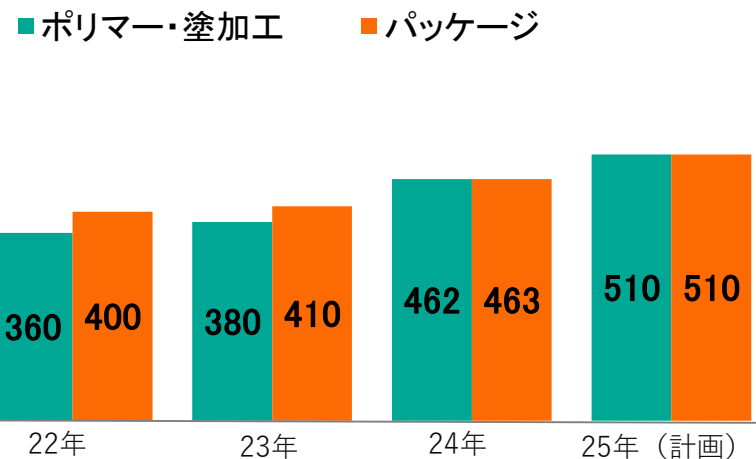
### ■ 当社の強み

- アジア圏では長年にわたり構築する強固なネットワークとブランド力
- 現地ニーズに即したスピーディな開発体制

- 2021年以降の海外設備投資および投資製品の現地通貨ベース売上増減率  
(24年実績 (21年比))



### ＜ポリマー・塗加工、パッケージの海外売上の推移※＞（億円）



※海外の実績は地域間消去を反映していません。

## グローバル市場の成長取り込み – インド国内のシェア拡大と輸出事業を拡大 –

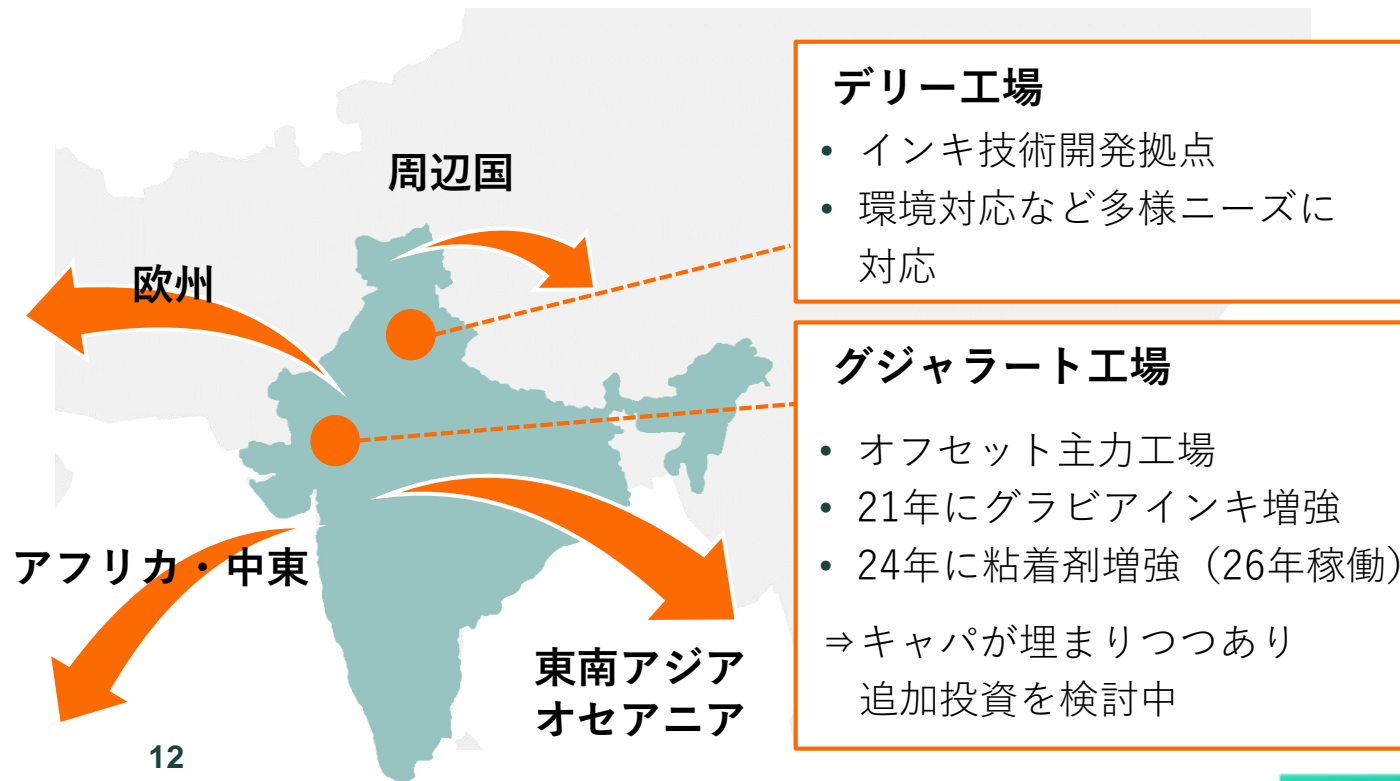
- インド国内のシェア拡大に加え、周辺国・中東・アフリカへの輸出拠点として事業を拡大
- グラビア・オフセットインキを中心に拡大、粘着剤・ラミネート接着剤も現地工業化に伴い伸長

### 当社の強み

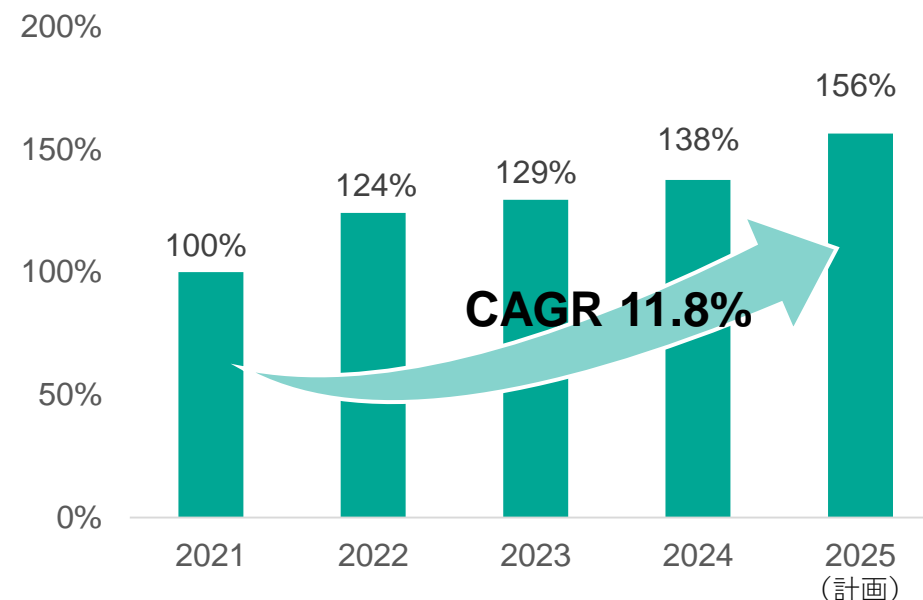
- ✓ 営業力と技術サービス対応力
- ✓ 現地ニーズに合わせた製品力・開発力
- ✓ インキとケミカル事業の両輪
- ✓ 高品質で培ったブランド力



- ✓ 人口世界1位
- ✓ GDP世界5位（成長率5-7%）
- ✓ 中間所得層が拡大



### <当社インド売上高推移(現地通貨ベース)>



# モビリティ・バッテリー関連事業：LiB用CNT分散体

## ■ FY24Q4概況と主なトピックス：

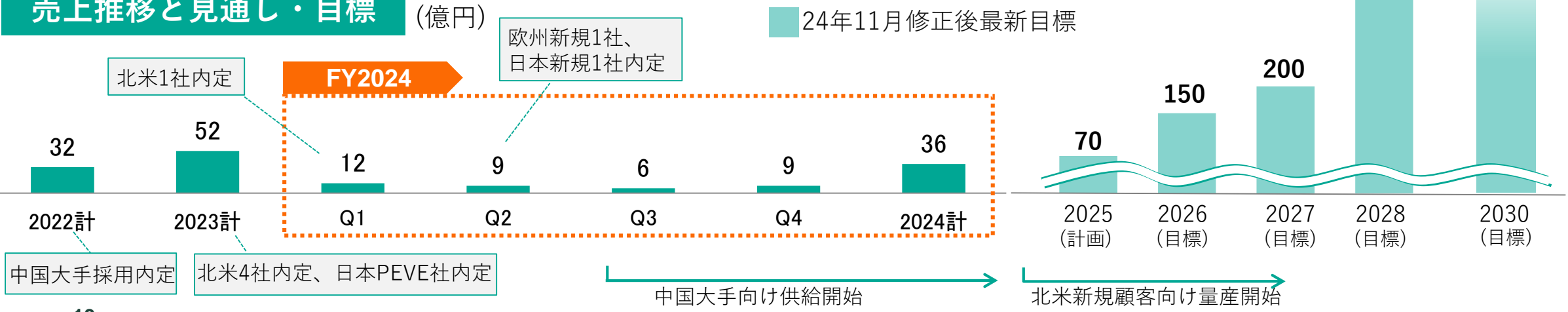
EV市場鈍化が継続したものの、売上9億円と前年同期及び前Qを上回った。中国大手は、欧州車向け新規搭載は引き続き遅延している。年間を通して、米国で数量が対前年1/3と大きく減少、欧州は7%程度の減少に留まり、全体の売り上げは36億円となった。

- 米国拠点：SKオン向け低調。ケンタッキーでは新工場を建設中。2025年は試作のみで製品出荷は2026年を予定。
- ハンガリー拠点：SKオン向けは、他拠点に比べ堅調に推移している。
- 中国珠海拠点：中国大手向けは、引き続き低調。
- 日本拠点：トヨタバッテリー（旧PEVE）向けのHEV用は2拠点目でも使用が開始され増加。

## ■ 今後の見通し：

米中での需要回復鈍く、2025年は下半期にかけて出荷の回復期待で売上70億円と見込む。赤字幅は縮小も、黒字化は2026年。北米は新規顧客向け出荷が既存工場から始まる。見込み案件も含め全体の内定状況に変更はない。負極用やLMFP用などの新規開発を引き続き推進、また全固体電池向けも開発中。これらの新規開発分は下記目標金額には含まず。2024年は設備投資額は当初の予定より半減の62億円、2025年も71億円の予定。

## 売上推移と見通し・目標



# ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業：周辺材料群や半導体関連材料を拡大

■中国シフトや競争環境の激化に対応し、開発とマーケティングで周辺材料群を拡大。半導体向けに注力。

## ディスプレイ

✓今後も需要が伸びる中国市場でシェア拡大し収益確保、次世代向け材料も展開

### CF材料

- 世界最大の中国市場で売上拡大、中国の生産拠点確保へ
- 徹底した差別化・機能製品を展開
- フォルダブルOLED向け反射防止、マイクロOLED、マイクロLED向け材料の強化

### 光学粘着剤

- 中国の供給体制を増強
- 車載向け高耐熱付加価値品を展開
- 環境配慮ニーズに対応するバイオマス粘着剤を拡大

## 先端エレクトロニクス

✓半導体向け材料を中心に新規材料を拡大、開発品の評価を推進

### センサー (光半導体)

### 半導体 関連材料

- 次世代センシング用材料の拡充
- FPC向けに培ったシート技術と独自樹脂を半導体関連材料向けへ応用、24年に一部実績化、次期中計で更なる拡大目指す。ポリマーパイロット棟での新規樹脂開発を加速。
- パワー半導体市場に向けた熱対策部材の展開

### ■半導体周辺材料の開発トレンド

伝送損失⇒低誘電

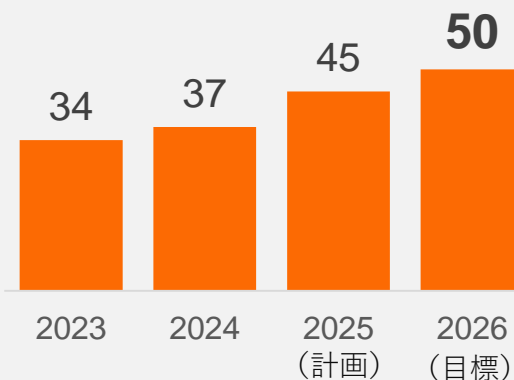
反り抑制⇒応力緩和

高温化⇒熱伝導・耐熱性

## <ディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業の営業利益推移>

(億円)

2026年営業利益  
50億円目標





# artience2027 計数計画

## ■ 26年目標、および各セグメントの26年目標値を一部修正

- 26年目標：売上高 4,000億円、営業利益 250億円、当期純利益175億円を**190億円へ修正**  
営業利益率6.3%、ROE7.0%以上を**8.0%以上へ修正**、海外売上高比率60%以上

(億円)

	売上					営業利益				
	23年 実績	24年 実績	25年 計画	26年 当初 計画	26年 修正 計画	23年 実績	24年 実績	25年 計画	26年 当初 計画	26年 修正 計画
色材・機能材	811	861	900	1,200	1,010	27	34	39	98	54
ポリマー・塗加工	777	885	950	940	1,005	53	72	78	70	85
パッケージ	843	915	975	1,000	1,060	37	54	59	49	63
印刷・情報	772	833	855	840	905	24	49	51	43	55
その他・調整	18	16	20	20	20	▲6	▲4	▲7	▲10	▲7
連結合計	3,221	3,511	3,700	4,000	4,000	134	204	220	250	250

## ESGトピックス

E

### サステナビリティビジョンasv2050/2030達成に向けて

- 中期経営計画とサステナビリティビジョンに連動した新たなマテリアリティを策定
- 国内外複数拠点において再生エネルギー由来電力の導入や太陽光発電設備を追加導入
- 脱炭素に向けたロードマップのカバー率向上（グローバル）  
（23年60%⇒24年87%（CO2排出量ベース））

S

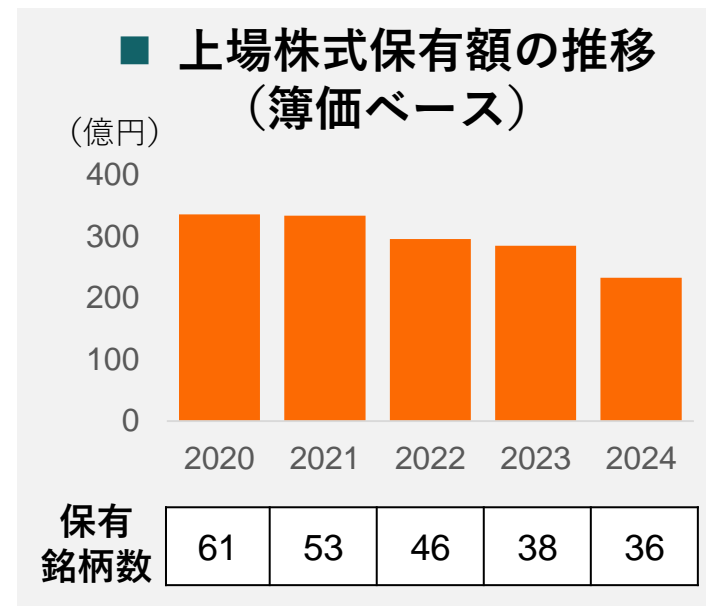
### エンゲージメント向上、DE&I実現に向けた施策の推進

- 人的資本の強化  
挑戦を促す新人事制度・新人材育成制度の導入、エンゲージメント向上に向けた取り組み、外国籍人材の開発・マーケティング部門での採用拡大  
ブランド浸透に向けた経営層による各拠点での座談会開催

G

### 資本効率性向上や株価を意識した経営への取り組み

- 自己株式の消却<sup>※1</sup>、自己株式取得<sup>※2</sup>、保有株式削減の継続（24年度95億円売却）
- ガバナンス体制の強化、ROEを重視した経営  
独立社外取締役比率を向上させ取締役会の監督機能強化、指名・報酬に関する諮問委員会の回数増（年1回⇒4回）  
取締役報酬制度へのROE達成度の組み込み検討、SR・IR活動の強化



※1：2024年5月末実施 ※2：450万株もしくは100億円上限（取得期間24年8月13日～25年8月12日）



## 中計3年間の資本政策およびキャッシュアロケーションの進捗と見直し

- 24年2月公表の計画を見直し、当初計画よりも株主還元を倍増へ

### 【24年2月公表】

Cash In 950～

Cash Out 950～

3年間営業CF 700

設備投資 300

純利益400

減価償却400

運転資金増▲100

LiB関連投資 300

自社株買い含めた株主還元  
200

その他(将来投資への充当  
および追加株主還元) 150～

収益分配請求権設定に  
よる資金調達 150

保有株式等の売却  
100～

### 【25年2月見直し】

Cash In 1,100～

Cash Out 1,100～

3年間営業CF 780

設備投資 300

純利益480 ※

減価償却400

運転資金増▲100

戦略投資枠 100

LiB関連投資 200

自社株買い含めた株主還元  
400～

その他(将来投資への充当  
および追加株主還元) 100～

収益分配請求権設定に  
よる資金調達 120

保有株式等の売却 200～

#### <24年実績>

- 設備投資：122億円
- LiB関連：62億円

#### <25年計画>

- 設備投資：87億円
- LiB関連：71億円

※金額は発注ベース

投資600

#### <24年実績>

- 年間配当100円(前期比+10円)：52億円
- 自己株式取得75億円(450万株もしくは100億円上限)(取得期間24年8月13日～25年8月12日)

#### <25年計画>

- 年間配当100円：50億円

#### <24年実績>

- 保有株式 95億円売却

※投資有価証券売却益除く

(単位：億円)

## 設備投資計画の進捗と見直し

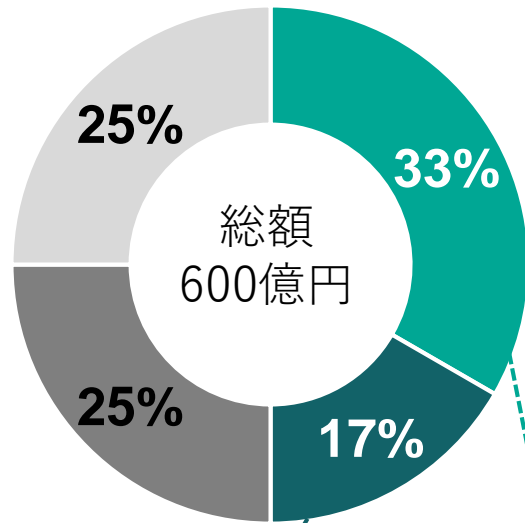
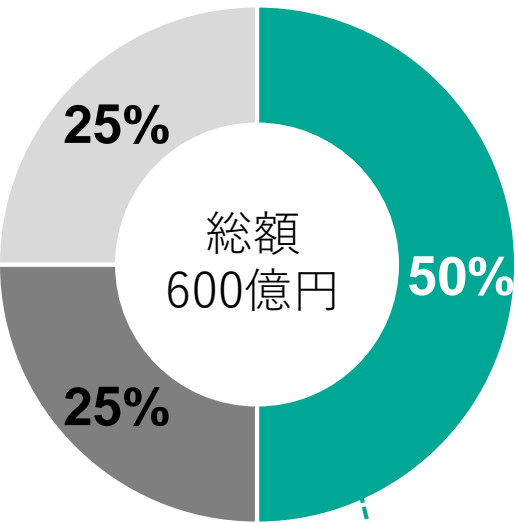
- 本中期経営計画では3年間総額600億円の設備投資を計画。当初、300億円を戦略的重点事業群のLiB関連投資へ重点的に配分予定だったが、需要に応じて柔軟に見直しを検討し、その他成長分野へ振り向ける。

### 中期経営計画3年間総額 設備投資計画の配分

■ 戦略的重点事業群
 ■ 高収益既存事業群
 ■ 国内外拠点の基盤強化

【24年2月公表】

【25年2月見直し】



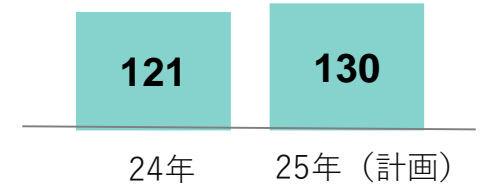
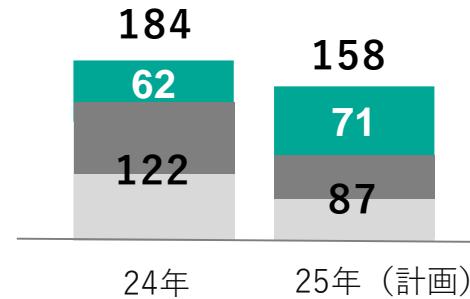
LiB関連投資  
300億円

戦略投資枠  
100億円

LiB関連投資  
200億円

### 設備投資

### 減価償却費



### ■ 主要な設備投資

LiB用分散体向け  
2024年度：62億円、2025年度：71億円

2024年度、2025年度その他：  
インド粘着剤、トルコ新工場、  
ポリマーパイロット棟、センサー用など

※本ページの設備投資額は発注ベースで記載しています。そのため有価証券報告書記載の財務会計上の金額とは異なります。

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の進捗

■ 当社の25年度の株主資本コストは7%程度と認識

■ 当初目標26年ROE7%以上を8%以上へ上方修正、29年ROE10%以上を達成することで企業価値、PBRの向上を図る

### 事業ポートフォリオ変革

- 低収益事業の構造改革含む既存事業の収益力改善
- 戦略的重点事業の拡大を着実に進め、成長ストーリーを明確化

### 資本効率の向上

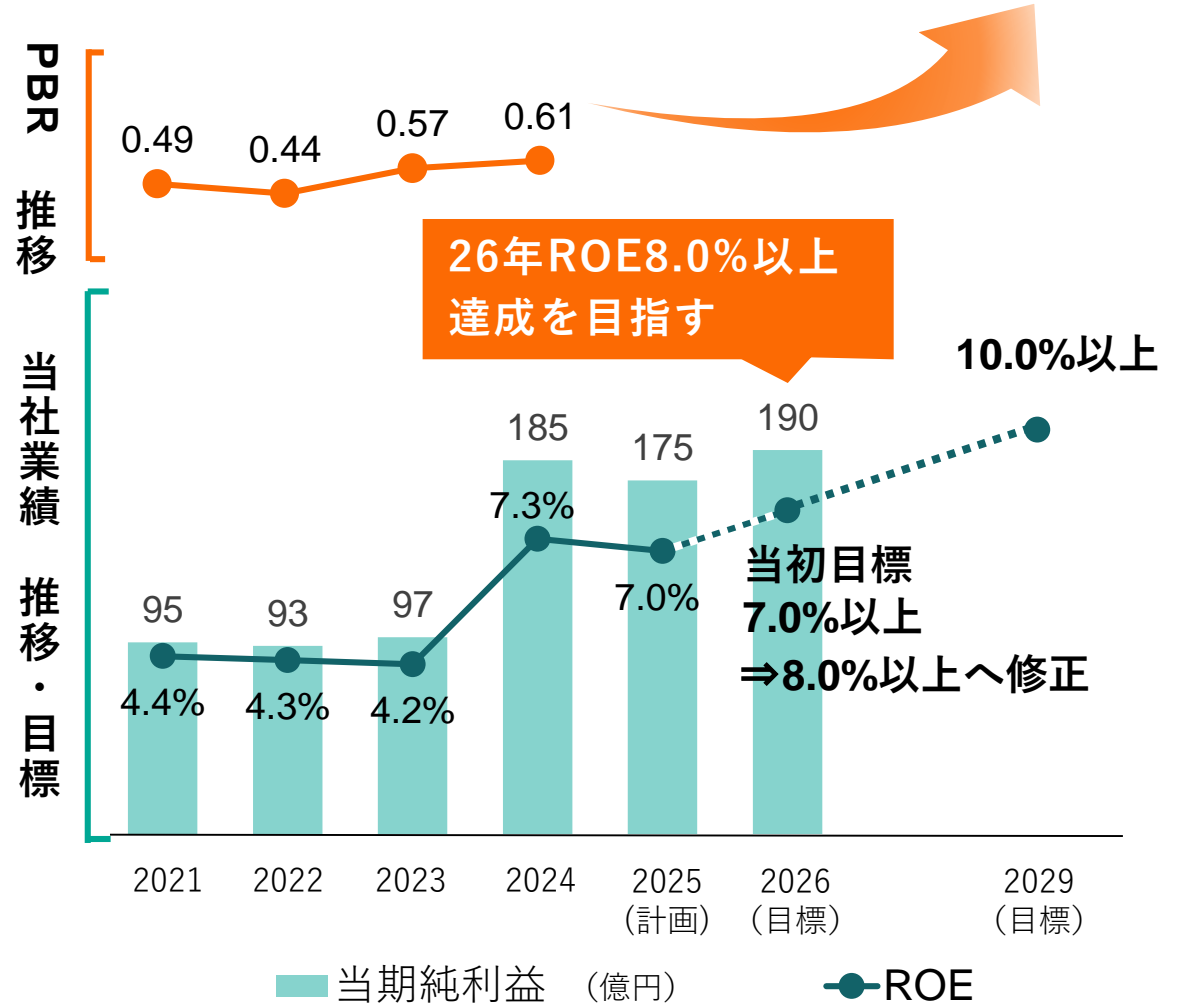
- ROIC指標の全社導入による効率性の向上
- CCC改善による運転資金の縮減（24年実績111日⇒25年目標108日）

### 資本政策

- 総還元性向に基づく株主還元の充実（24年実績：前期比10円増配、自己株式取得<sup>\*1</sup>）
- 保有株式の縮減（24年 95億円売却）

### 資本コスト低減の取り組み

- 適時適切な情報開示、積極的な情報発信などIR活動の強化、ステークホルダーとの対話強化



# 目次

- 本日本お伝えしたいこと
- 中期経営計画artience2027の進捗
  
- 決算のポイント
- 2024年度 連結業績概況・事業セグメント別実績概況
- 2025年度 事業セグメント別見通し

(参考) 連結BS・PL概況  
事業別・地域別セグメント実績  
主な製品・用途

# 決算のポイント

## 2024年度Q4と通期業績

- **FY24Q4概況**：売上は色材・機能材以外の3セグメントはQ3比で増収。**営業利益**はパッケージやポリマー・塗加工が需要増でQ3比で増益も、色材・機能材と印刷・情報はQ3比で減益。その他セグメントでブランド浸透やシステム関連費用が3億円発生し、全体ではQ3比で6億円の減益。
  - **海外**の成長事業は、粘着剤・ラミネート接着剤・グラビアインキは拡販が進み好調継続も、UVインキは特需反動などでQ3比で低迷。**国内**は原材料費や物流費等の高騰続き利益を圧迫するも、コストダウンと価格改定を続け、パッケージや印刷・情報で利益改善が継続。
  - モバイル端末向け機能性フィルムはQ4から閑散期入りQ3比で減少。**CF用材料**は中小型の市況低迷は継続も、大型パネルの稼働調整は底を打った。**LiB用CNT分散体**は米国は低調継続も欧州が回復の兆しも全体としては低調。
  - **当期純利益**は、投資有価証券売却益計上やトルコでの投資優遇税制活用による税負担減等もあり大幅増益。
- **FY24通期概況**：全セグメントで増収増益。海外で前中計期間に実施した設備増強や販売強化策により高収益既存事業群の拡販が進み、国内は原材料高騰に対してコストダウンや価格改定で利益の改善が進んだ。

## 2025年度見通し

- **通期業績予想**：売上3,700億円、営業利益220億円と**増収増益**の計画。
- **事業見通し**：
  - **全般**：海外はインド・東南アジア中心に成長事業の伸長が続く見通し。国内は原材料高騰や各種コスト上昇が更に進む見通しのため、コストダウンと価格改定を続け利益を維持。モバイル端末向け機能性フィルムは24年好調の反動を半導体向け拡販などで補う。
  - **CF用材料**：大型の稼働調整は継続も、中小型はAI搭載PCやPC買い替え需要を期待。センサー関連材料は堅調。
  - **LiB用CNT分散体**：米中での需要回復鈍く、2025年は下半期にかけて出荷の回復期待で売上70億円を見込む。北米は新規顧客向け出荷が既存工場から始まる。

## 2024年度 連結業績

(単位：億円)

	23年度実績	24年度実績	増減率(%)	24年度通期計画 (8/9修正後)	25年度通期計画
売上高	3,221	3,511	9.0	3,550	3,700
営業利益	134	204	52.7	200	220
経常利益	129	210	63.1	200	210
親会社株主に帰属する 当期純利益	97	185	90.4	165	175
営業利益率	4.2%	5.8%	+1.6 (point)	5.6%	5.9%
海外売上高比率	53.7%	55.4%	+1.7 (point)		—
ROE	4.2%	7.3%	+3.1 (point)		7.0%

### 計画の前提となる指標と実績

		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
為替	1 USD	¥141.2	¥152.2	¥150.0
	1 EUR	¥153.2	¥164.4	¥155.0
	1 RMB	¥19.9	¥21.1	¥21.0

		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥67,600	¥75,400	¥70,000

# 2024年度 連結業績サマリー

## ■ 増収増益：海外が伸長し増収、国内はコスト増に対するコストダウン・価格改定の継続で増益

### 売上

特に海外が為替影響と前年の価格改定効果、前中計期間に実施した設備増強や販売強化施策により成長事業（グラビアインキ、粘接着剤、UVインキなど）が伸長し、増収。

### 営業利益

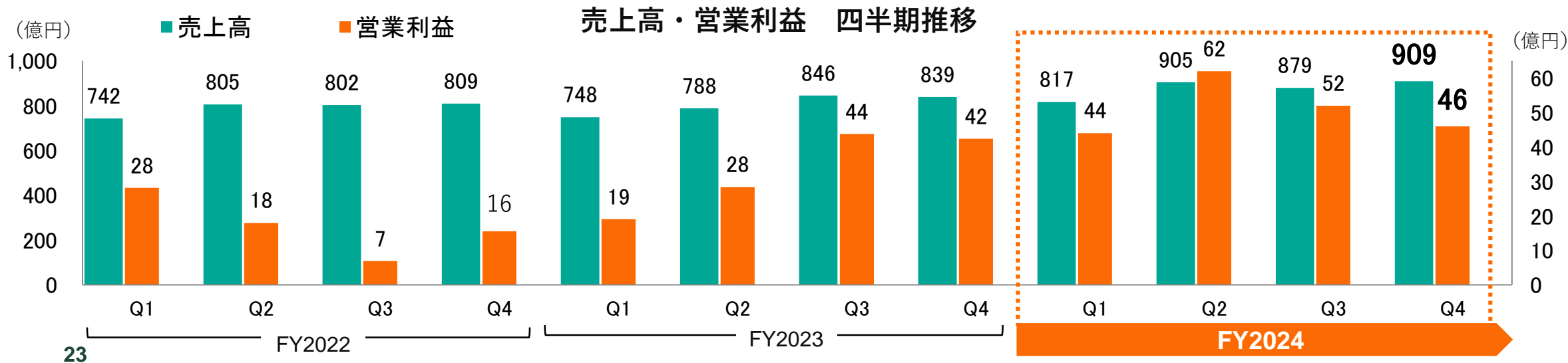
国内印刷・情報の収益改善効果の継続や、グラビアインキなどパッケージ関連やUVインキなど機能性インキでの売上伸長、またコストダウン・価格改定の継続により、国内外で増益。モバイル端末向け機能性フィルムは拡販により増益に寄与。CF材料は大型が前半好調も後半は調整があり前年並み、LiB用分散体は中国大手での欧州車向け新規搭載遅延で減益となった。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

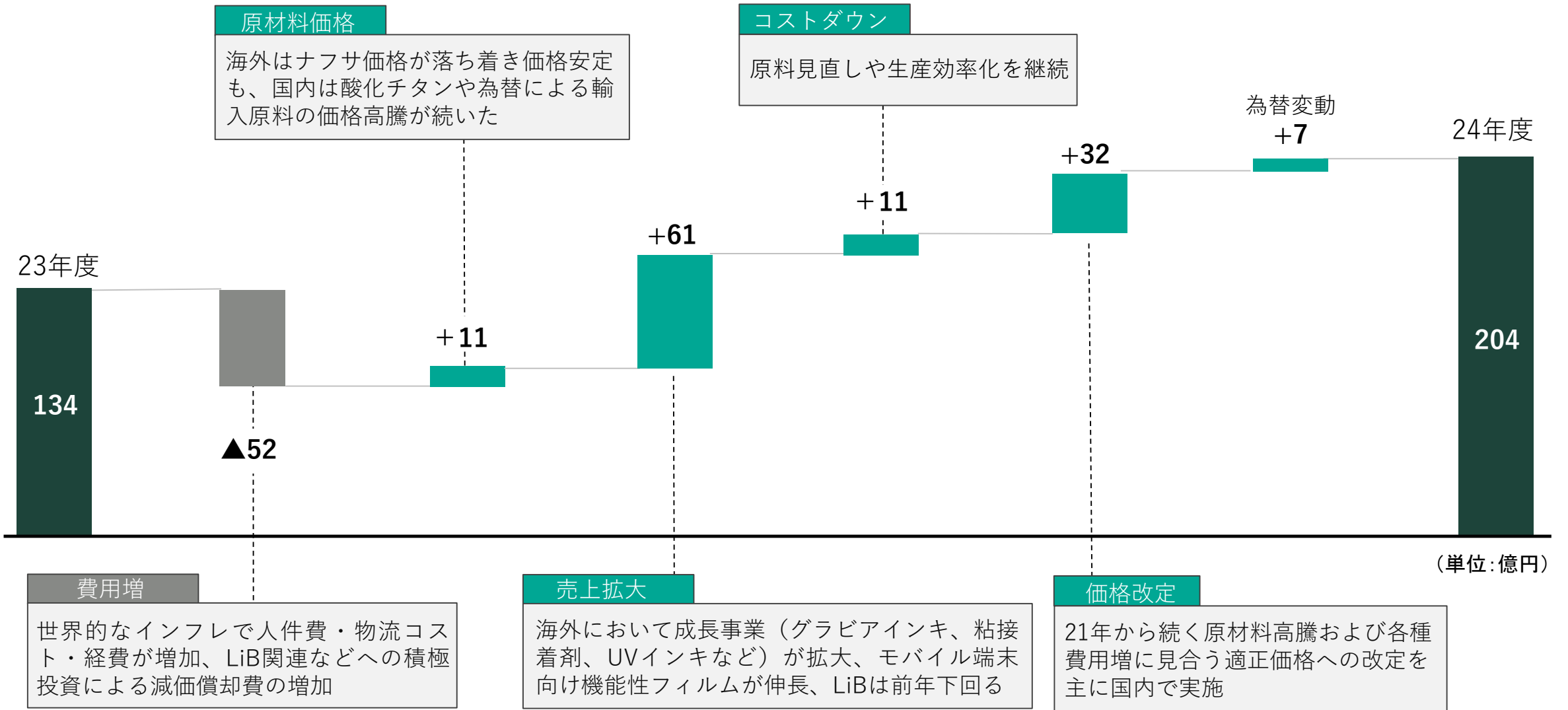
投資有価証券売却益計上や、トルコでの投資優遇税制活用による税負担減もあり大幅増益。

### ROE

純利益増加によりROEが7.3%へ改善（+3.1point）



# 2024年度 営業利益の増減要因分析





# 2024年度 事業セグメント別実績概況

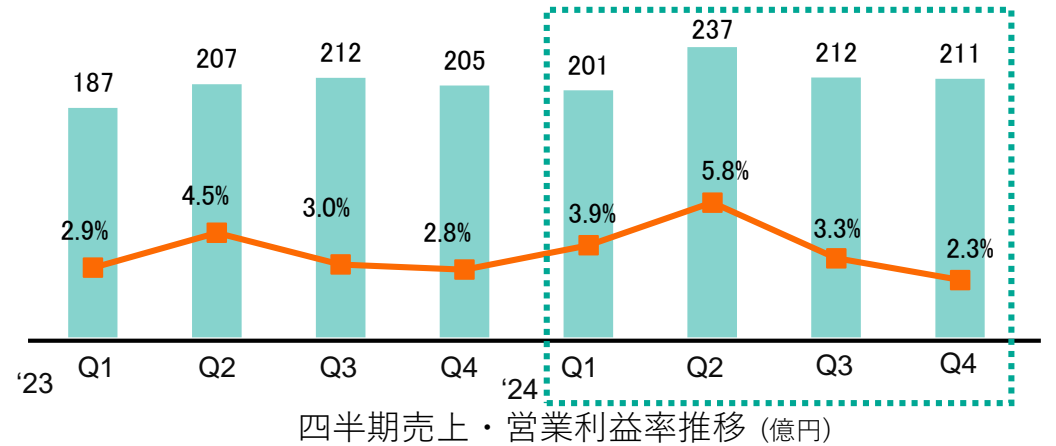
	23年度実績 (億円)		24年度実績 (億円)		増減率(%)		24年度計画 (億円) (8/9修正後)	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
色材・機能材	811	27	861	34	6.2	25.3	910	40
ポリマー・塗加工	777	53	885	72	13.9	36.0	870	70
パッケージ	843	37	915	54	8.6	47.6	910	50
印刷・情報	772	24	833	49	7.9	105.8	840	50
その他・調整	18	▲ 6	16	▲ 4	-	-	20	▲ 10
連結	3,221	134	3,511	204	9.0	52.7	3,550	200

# 2024年度 事業セグメント概況（色材・機能材）

■ **売上/営業利益** CF用材料は大型パネルは前半堅調に推移するも後半は在庫調整や中小型の低迷で低調、通期では利益前年並み。着色剤は海外で自動車用、太陽電池用が好調。インクジェットは商業印刷やラベルなどで国内外で堅調。LiB用分散体は欧米の市況低迷と中国大手での欧州車向け新規搭載遅延により前年割れ。

実績	23年度実績	24年度実績	YonY増減率(%)	24年度通期計画(8/9修正後)	25年度通期計画
売上	811	861	6.2	910	900
営業利益	27	34	25.3	40	39

(億円)



	売上増減	概況
CF用材料	▲0%	大型パネル用の中国・台湾のレジスト・ペーストはQ3から在庫調整に入るもQ4で底打ち。中小型パネル市場は低迷続き、Q3で日本顧客が生産停止も、通期では利益前年並み。センサー用は堅調。
着色剤	12%	海外は北米の自動車用が好調。中国の太陽電池用は前半好調もQ3終わりから供給過多となり在庫調整に入った。国内は容器用は無色化などで低迷も、Q2以降はコストダウン、価格改定等で増益。
顔料	11%	省人化とオートメーション化によるコストダウン、拠点統合、価格改定なども寄与し増益。
その他	▲5%	インクジェットは商業印刷、ラベルなどで堅調。LiB用分散体は欧米低迷が続くもQ4から欧州は回復基調、中国大手の欧州車向け新規搭載は引き続き遅延。出荷が当初見通しを下回り、前年割れ。

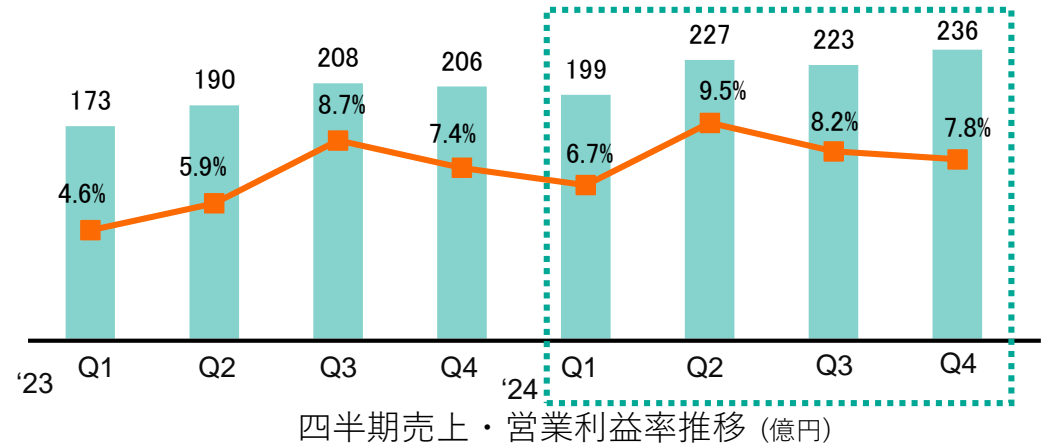
# 2024年度 事業セグメント概況（ポリマー・塗加工）

## ■ 売上/営業利益

海外を中心に接着剤や塗料の拡販が進み、モバイル端末向けの塗工材料が拡大。国内は接着剤の拡販進むも、原材料価格や物流などのコストの上昇を受け、コストダウンや適正価格への改定を継続。

実績	23年度実績	24年度実績	YoY増減率(%)	24年度通期計画 (8/9修正後)	25年度通期計画
売上	777	885	13.9	870	950
営業利益	53	72	36.0	70	78

(億円)



	売上増減	概況
塗工材	23%	モバイル端末向け導電性接着シートなどの機能性フィルムは、Q4から閑散期入るも通期では拡大。半導体関連材料の開発品も一部実績化。
接着剤	11%	粘着剤は国内では原材料価格などの上昇が利益を圧迫も、海外では中国やインドなどで増設増強も寄与し好調に推移。ラミネート接着剤は包装用やLiBパウチ用が国内外で拡販が進む。
塗料樹脂	18%	国内は飲料缶用が売上増も原材料上昇により利益面で苦戦、海外はタイの食缶の復調やサステナビリティ貢献製品の採用拡大に加え、買収効果もあり大きく伸長。

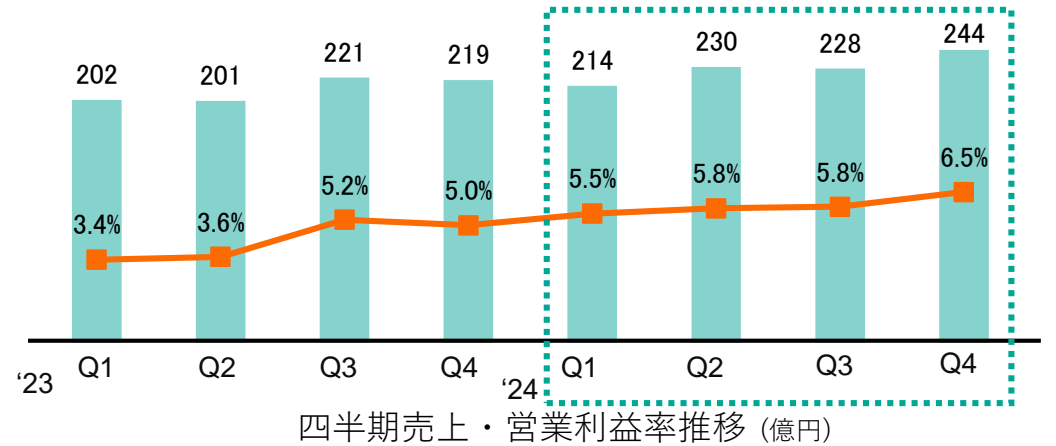
# 2024年度 事業セグメント概況（パッケージ）

## ■売上/営業利益

特に海外が好調で増収増益。サステナビリティ貢献製品も各地で拡大。国内は食品包装用が好調、生産効率化・価格改定により増益も原料や物流費は上昇基調が続いた。

実績	23年度実績	24年度実績	YoY増減率(%)	24年度通期計画 (8/9修正後)	25年度通期計画
売上	843	915	8.6	910	975
営業利益	37	54	47.6	50	59

(億円)



売上増減	概況
国内リキッドインキ	6% 増収増益。国内は食品包装用が好調で、シェアも伸長。原料や物流費の高騰続くなか、品種統合による生産効率化、固定費削減や価格改定を継続。
海外リキッドインキ	13% 増収増益。中国は市況低調も、東南アジア・インドは需要堅調でラミネート分野が拡大。特にインドはシェア拡大が進む。トルコ新工場は12月に稼働。

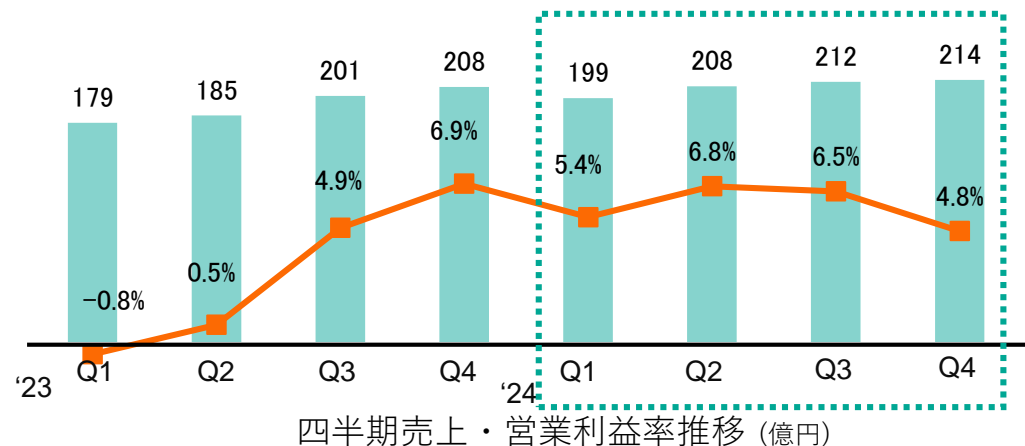
# 2024年度 事業セグメント概況（印刷・情報）

## ■ 売上/営業利益

国内は市場縮小も機能性インキがさらに伸長、固定費削減・生産体制見直しなどの施策継続により増収増益。海外は、紙器向けの機能性インキ、枚葉インキが伸長し増収増益。

実績	23年度実績	24年度実績	YoY増減率(%)	24年度通期計画(8/9修正後)	25年度通期計画
売上	772	833	7.9	840	855
営業利益	24	49	105.8	50	51

(億円)



売上増減	概況
オフセットインキ (一般インキ)	3% 増収増益。国内の情報系印刷市場は縮小も、生産販売体制の改革継続や物流費なども含めた価格改定の推進により利益改善が続く。海外は枚葉インキが紙器向けに伸長。
機能性インキ※	13% 増収増益。国内は商業印刷、紙器・ラベルなど包装関連でUVインキが堅調に推移。海外は欧米で商業印刷向けにLED-UVインキが伸長、Q3の北米選挙特需からの反動でQ4は落ち込むも、通期では好調。高級紙器向けの機能性コーティング剤も前年より更に拡大。

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

# 2025年度 通期計画

(単位：億円)

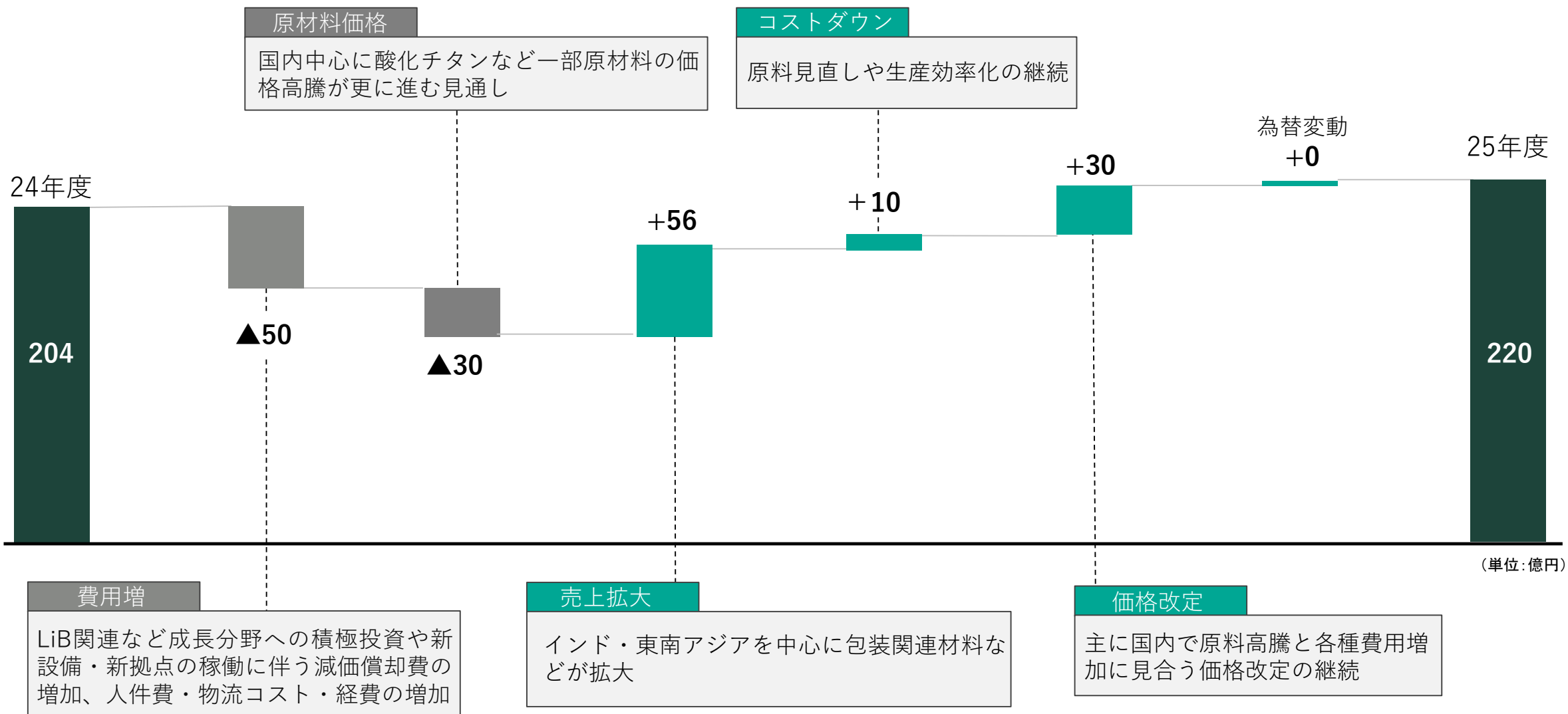
	24年度実績	25年度計画	増減率
売上高	3,511	3,700	5.4
営業利益	204	220	7.8
経常利益	210	210	▲0.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	185	175	▲5.6
営業利益率	5.8%	5.9%	+0.1 (point)
海外売上高比率	55.4%	—	—
ROE	7.3%	7.0%	▲0.3 (point)

## 計画の前提となる指標と実績

		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
為替	1 USD	¥141.2	¥152.2	¥150.0
	1 EUR	¥153.2	¥164.4	¥155.0
	1 RMB	¥19.9	¥21.1	¥21.0

		23年度 平均	24年度 平均	25年度 前提
原料	ナフサ(/KL)	¥67,600	¥75,400	¥70,000

# 2025年度 営業利益の増減要因見通し



## 2025年度 事業セグメント別見通し

- **色材・機能材**：CF材料は大型が回復見込み、中小型はAI搭載PC等の買い替え需要を期待、センサー関連材料は堅調見込み。CNT分散体は下期から出荷回復を期待、赤字幅は24年より縮小させ26年より黒字化を見込む。着色剤は海外は太陽電池が在庫調整が継続するも、環境対応製品の拡販およびコストダウン、価格改定を引き続き実施。インクジェットは海外中心に好調継続。
- **ポリマー・塗加工**：モバイル端末向け機能性フィルムは24年好調の反動を半導体関連材料などの拡販で補う。海外は接着剤や塗料の好調が続く見込み。国内は原材料や各種コストの高止まりに対して、適正価格への改定やコストダウンを継続。
- **パッケージ**：海外は東南アジア、インドを中心に好調続き、トルコ新工場も本格稼働見込み。国内は原料や各種コスト高騰が続き、生産効率化や価格改定進め利益確保を目指す。
- **印刷情報**：海外は包装関連や商業印刷向けに油性インキからの切り替えで高感度UVインキが伸長、紙器向けに機能性インキが堅調見込み。国内は市場縮小に合わせた構造改革と価格改定を継続。

	24年度実績 (億円)		25年度計画 (億円)		増減率(%)	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
色材・機能材	861	34	900	39	4.5	15.8
ポリマー・塗加工	885	72	950	78	7.3	9.1
パッケージ	915	54	975	59	6.5	9.0
印刷・情報	833	49	855	51	2.6	4.4
その他・調整	16	▲ 4	20	▲ 7	-	-
連結	3,511	204	3,700	220	5.4	7.8



■ IRに関するご質問・お問い合わせ先 [ir@artiencgroup.com](mailto:ir@artiencgroup.com)

■ ウェブサイト <https://www.artiencgroup.com>

## ■ 主要ニュースリリース

- artienceグループ、2030年度に向けた新マテリアリティを策定（2025年2月18日）

<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25021801.html>

- artienceグループ、2024年度省エネ大賞で省エネルギーセンター会長賞を受賞（2025年2月10日）

<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2025/25021001.html>

- artienceグループ、「PRIDE指標2024」最高位のゴールドを受賞（2024年11月14日）

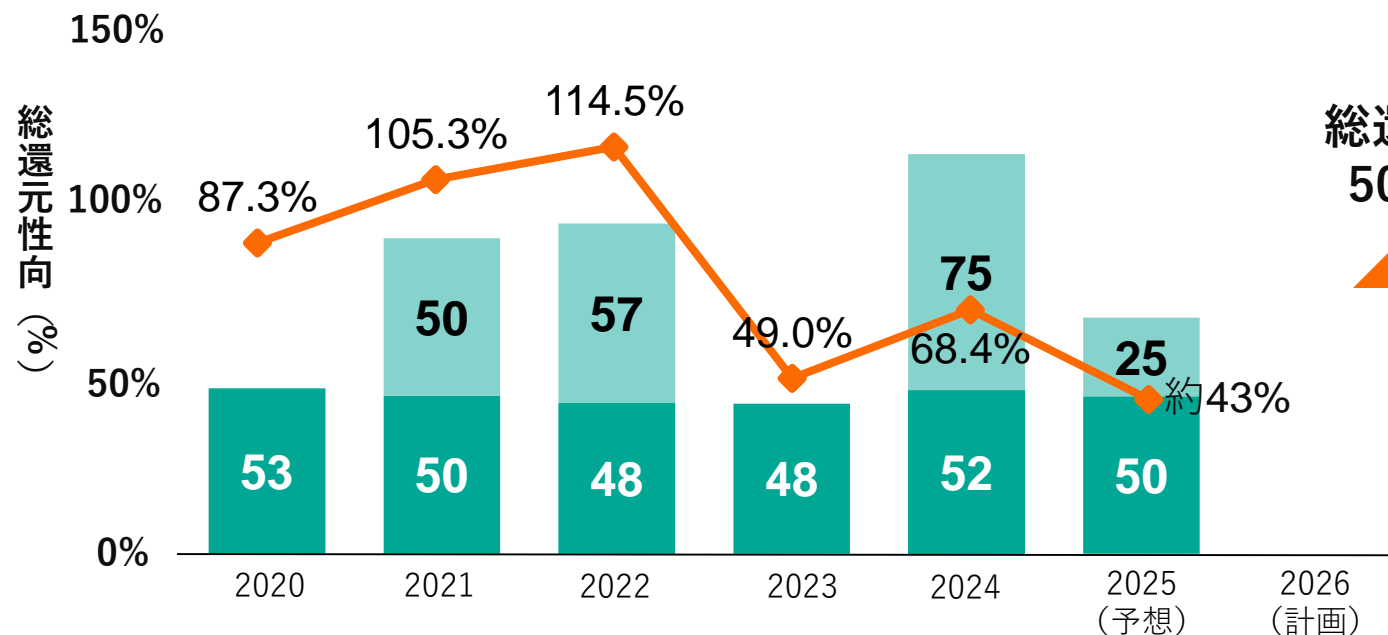
<https://www.artiencgroup.com/ja/news/2024/24111401.html>

## (参考) 中期経営計画artience2027 株主還元方針

- 総還元性向目標を導入し、利益成長に合わせて株主還元水準の向上を目指す

- 安定配当を基本としつつ、利益達成時のキャッシュの余剰を戦略投資および自社株取得などの株主還元増へ充当する
- 総還元性向50%以上とする

■ 配当総額 (億円) ■ 自己株取得額 (億円) ■ 総還元性向 (%)



1株あたり年間配当金 (円)	90	90	90	90	100	100	
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	60	95	93	97	185	175	190

※2024年8月9日、24年12月期は年間配当100円（前期比+10円増配）を発表。

※2024年8月9日、450万株もしくは100億円上限とした自己株式取得を発表（取得期間24年8月13日～25年8月12日）。

## (参考) 連結貸借対照表等の概況

(単位：億円)

	2023年 12月末	2024年 12月末	増減率(%)
流動資産	2,309	2,453	6.2
固定資産	2,169	2,275	4.9
資産合計	4,478	4,728	5.6

流動負債	1,240	1,395	12.5
固定負債	682	596	▲ 12.7
負債合計	1,921	1,990	3.6

純資産合計	2,557	2,738	7.1
負債純資産合計	4,478	4,728	5.6

	2023年 12月末	2024年 12月末
有利子負債(億円)	899	839
自己資本比率(%)	54.9	55.4
D/Eレシオ	0.43	0.39

関係会社の数

	2023年12月末	2024年12月末
連結子会社	56	56
持分法適用会社	6	4

配当の状況

(単位：円/株)

	2023年度	2024年度
中間	45.0	50.0
期末	45.0	50.0(予想)

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

	2024年度 実績	2025年度 通期計画
設備投資※	184	158
減価償却	121	130

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベースの金額

## (参考) 連結損益計算書の概況

(単位：億円)

	2023年 Q4累計実績	構成比 (%)	2024年 Q4累計実績	構成比 (%)	増減比 (%)
売上高	3,221	100.0	<b>3,511</b>	100.0	9.0
売上総利益	638	19.8	<b>746</b>	21.3	16.9
販管費計	505	15.7	<b>542</b>	15.4	7.4
営業利益	134	4.2	<b>204</b>	5.8	52.7
営業外収益計	26	0.8	<b>45</b>	1.3	72.7
営業外費用計	31	1.0	<b>39</b>	1.1	25.8
経常利益	129	4.0	<b>210</b>	6.0	63.1
特別利益計	22	0.7	<b>43</b>	1.2	93.1
特別損失計	23	0.7	<b>24</b>	0.7	4.1
税金等調整前当期利益	128	4.0	<b>229</b>	6.5	78.7
法人税等計	30	0.9	<b>42</b>	1.2	36.6
当期純利益	98	3.0	<b>187</b>	5.3	91.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	97	3.0	<b>185</b>	5.3	90.4

# (参考) 連結損益計算書の概況 (2024年度 四半期推移)

(単位：億円)

	Q1	Q2	Q3	Q4	備考
売上高	817	905	879	909	
営業利益	44	62	52	46	
営業外収益計	15	22	7	25	
為替差益	7	7	-	13	Q4期末が円安で、通期では差益を計上 (2024年12月末時点 1ドル158.2円)
正味貨幣持高に係る利得	6	4	3	0	
その他	3	10	3	11	
営業外費用計	9	10	33	11	
為替差損	-	-	23	-	Q4は円安により差損は解消
その他	9	10	10	11	
経常利益	50	74	26	60	
特別利益計	0	0	22	21	
投資有価証券売却益	0	0	22	20	2024年8月公表の縮減方針に則り売却を実行
その他	0	0	0	0	
特別損失計	2	2	1	18	
固定資産除却等損	1	1	1	1	
減損損失	-	-	-	4	子会社駐車場の賃貸転用に伴い計上
投資有価証券売却損	-	-	-	6	持分法適用関連会社の株式売却
投資有価証券評価損	0	-	-	8	非上場株式の評価減
その他	1	1	0	-	
法人税等計	6	19	13	3	Q4はトルコでの優遇税制活用により税負担減少
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	53	33	59	

## (参考) 事業別セグメント実績

		2024年12月期 第4四半期 (3か月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較 (%)		増減率 2024年12月期 第3四半期比較 (%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較 (%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	114	5	7.1	129.9	15.0	-	417	14	6.7	68.5
	海外	157	4	6.3	23.3	0.3	4.3	640	21	6.0	8.4
	合計	211	5	2.8	▲ 14.2	▲ 0.5	▲ 29.6	861	34	6.2	25.3
ポリマー・ 塗加工	日本	145	4	3.4	▲ 38.7	1.3	▲ 39.1	562	24	10.7	17.0
	海外	120	13	21.1	51.7	2.6	14.1	462	47	21.5	44.3
	合計	236	18	14.6	20.5	5.6	1.0	885	72	13.9	36.0
パッケージ	日本	126	9	9.6	72.2	3.6	62.7	473	24	6.4	41.6
	海外	124	7	16.1	24.3	11.3	▲ 8.4	463	30	12.7	53.2
	合計	244	16	11.5	44.8	6.8	19.0	915	54	8.6	47.6
印刷・情報	日本	107	4	▲ 0.6	▲ 26.5	8.1	15.3	400	15	3.8	477.0
	海外	119	6	4.0	▲ 32.9	▲ 8.9	▲ 46.8	490	34	12.6	52.6
	合計	214	10	2.7	▲ 29.0	0.7	▲ 26.8	833	49	7.9	105.8
その他		16	▲ 3	5.0	-	10.6	-	58	▲ 4	3.5	-
調整		▲ 11	▲ 0	-	-	-	-	▲ 42	▲ 0	-	-
連結		909	46	8.3	8.8	3.4	▲ 12.0	3,511	204	9.0	52.7

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

# (参考) 事業別セグメント実績 (四半期推移)

(単位：億円)

		FY2023								FY2024							
		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	日本	86	1	97	3	101	2	107	2	96	3	108	5	99	0	114	5
	海外	145	2	157	9	155	5	147	3	149	3	178	9	156	4	157	4
	合計	187	5	207	9	212	6	205	6	201	8	237	14	212	7	211	5
ポリマー・塗加工	日本	116	4	124	4	128	6	140	7	127	4	146	9	143	7	145	4
	海外	80	5	91	7	110	12	99	9	104	10	122	12	117	12	120	13
	合計	173	8	190	11	208	18	206	15	199	13	227	22	223	18	236	18
パッケージ	日本	110	6	110	3	109	3	115	5	108	4	116	6	122	5	126	9
	海外	94	1	95	4	115	8	107	6	109	7	118	8	111	8	124	7
	合計	202	7	201	7	221	12	219	11	214	12	230	13	228	13	244	16
印刷・情報	日本	91	▲2	92	▲2	95	2	108	6	93	3	100	5	99	4	107	4
	海外	98	2	104	3	119	8	115	9	117	8	123	9	131	11	119	6
	合計	179	▲1	185	1	201	10	208	14	199	11	208	14	212	14	214	10
その他		15	0	14	0	13	▲2	15	▲4	14	0	14	▲1	14	▲0	16	▲3
調整		▲8	▲0	▲8	▲0	▲8	▲0	▲14	0	▲9	▲0	▲11	▲0	▲11	0	▲11	▲0
連結		748	19	788	28	846	44	839	42	817	44	905	62	879	52	909	46

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

## (参考) 地域別セグメント実績

当期実績	2024年度 第4四半期(3か月) 実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2024年12月期 第3四半期比較(%)		当期累計実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	510	19	5.8	24.6	6.8	20.9	1,911	73	7.3	73.7
アジア	369	25	9.2	38.8	▲ 2.1	▲ 4.2	1,463	94	13.6	50.0
ヨーロッパ	95	5	37.3	▲ 17.0	29.9	53.0	330	20	14.4	▲ 1.3
北米・南米	54	1	▲ 8.2	▲ 63.7	▲ 14.3	▲ 79.3	252	19	1.4	63.9
調整	▲ 119	▲ 4	-	-	-	-	▲ 446	▲ 2	-	-

連結	909	46	8.3	8.8	3.4	▲ 12.0	3,511	204	9.0	52.7
----	-----	----	-----	-----	-----	--------	-------	-----	-----	------

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	417	8	436	7	447	11	482	15	1,781	42
アジア	289	9	317	15	344	21	338	18	1,288	63
ヨーロッパ	69	0	64	6	86	8	69	6	289	20
北米・中南米	58	1	64	2	68	5	59	3	248	11
調整	▲ 85	1	▲ 93	▲ 2	▲ 99	▲ 1	▲ 108	▲ 0	▲ 385	▲ 3
連結	748	19	788	28	846	44	839	42	3,221	134

(注) 各所在地の金額は、地域間の取引および全社的な費用を控除していません。

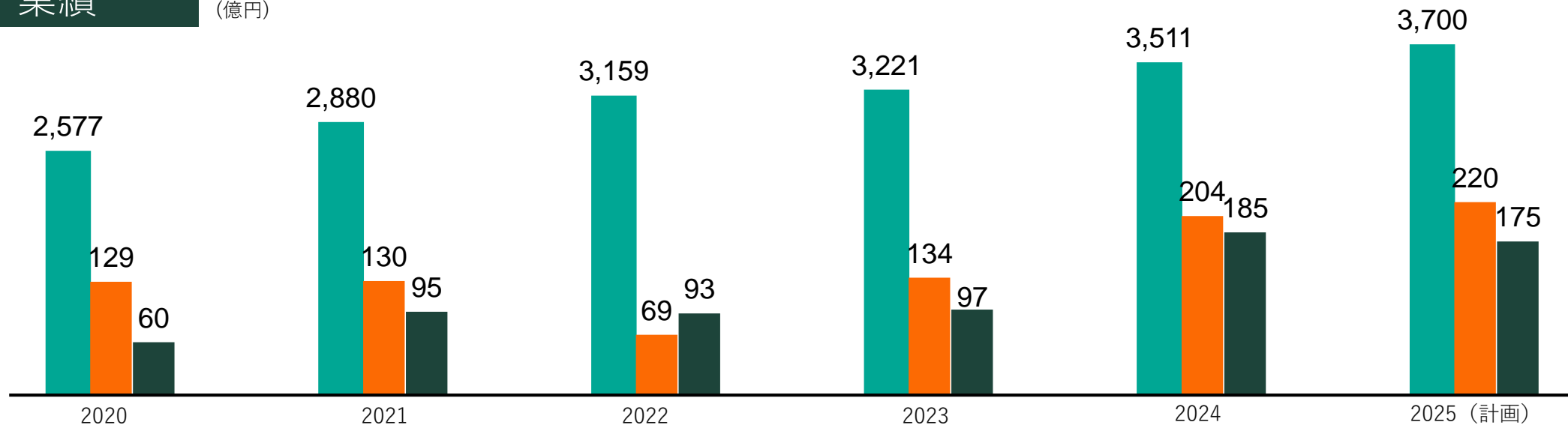


# (参考) 補足財務データ

■ 売上 ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

## 業績

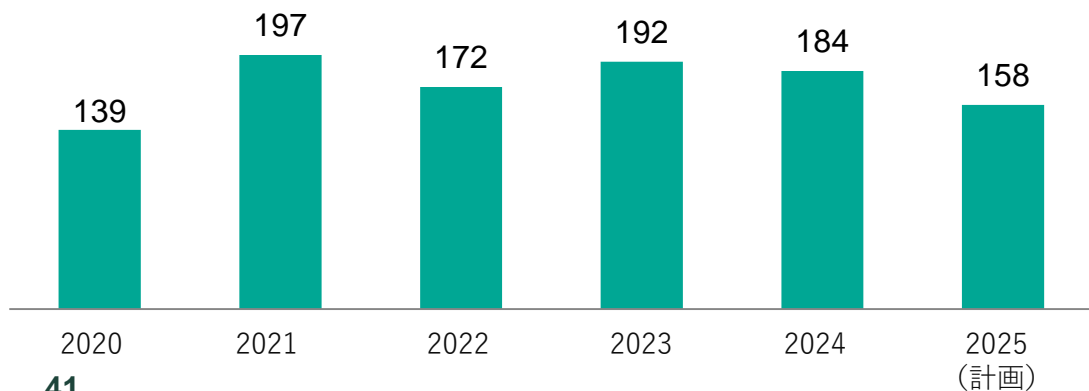
(億円)



## 設備投資

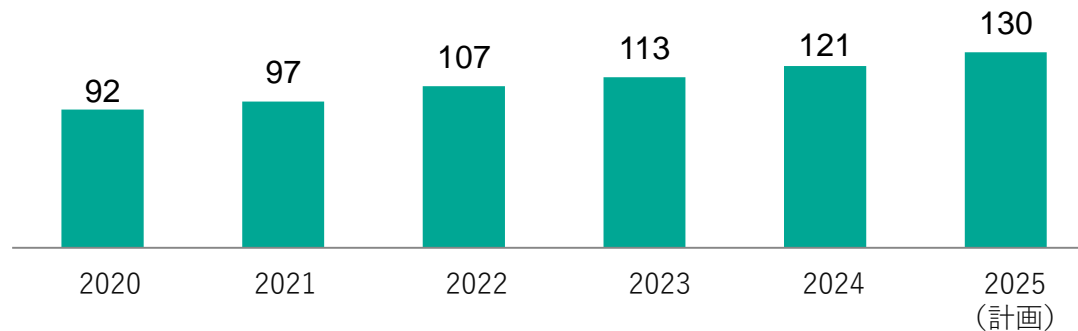
(億円)

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース







## 減価償却





(億円)



# 色材・機能材 サブセグメント

サブセグメント		主な製品	主な用途	
CF材料	高機能化成品	高機能顔料 CFペースト	CFペースト レジストインキ	
	表示材料	レジストインキ	ディスプレイ、センサー	
汎用化成品		顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
プラスチック着色剤		マスターバッチ コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
その他		インクジェットインキ	看板広告・ラベル・段ボール	
		機能性分散体	リチウムイオン電池	

# ポリマー・塗加工 サブセグメント

サブセグメント	主な製品	主な用途	
塗工材料	接着テープ、機能性フィルム	スマートフォン	
	マーキングフィルム	看板	
接着剤	粘着剤	ラベル、ディスプレイ、自動車、工業材	
	ラミネート接着剤	フィルム包材、リチウムイオン電池、太陽電池	
	ホットメルト	製本、PETボトル胴巻きラベル	
塗料樹脂	製缶塗料	飲料缶、食缶	
	樹脂、ハードコート	印刷インキ、建築塗料、ディスプレイ	
その他	メディカル	貼付型医薬品	
	天然材料	飼料、食品	

# パッケージ、印刷・情報 サブセグメント

	サブセグメント	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ、 フレキソインキ	フィルム包材（食品パッケージ、 日用品詰め替え）  建材  サニタリー、段ボール、紙袋
	グラビア機器 ・製版	グラビア機器、製販	
印刷・情報	オフセット インキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器
	機能性インキ	UVインキ 金属インキ スクリーンインキ	紙器、ラベル、書籍 飲料缶、食缶 エレクトロニクス、ステッカー
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、印刷 検査装置	



## 注意事項：

当社グループによる開示情報には、業績予想や将来予測に関する情報が含まれる場合があります。これらの情報は、開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社グループが判断する一定の前提に基づくものであり、さまざまなリスク要因や不確実な要素により、実際の結果と異なる可能性があります。

当社グループによる開示情報は、ステークホルダーに当社グループへの理解を深めていただくための情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。当社グループによる開示情報に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社グループは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

### ■ IRスケジュール（予定） ※都合により予告なく変更する場合がございます

- FY2025Q1：決算発表（5月9日）、決算説明会（5月16日）
- FY2025Q2：決算発表（8月8日）、決算説明会（8月19日）
- FY2025Q3：決算発表（11月14日）、決算説明会（11月21日）